

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

どんな環境にも会社を安定させられる手段を考えておく 塚越 寛（伊那食品工業会長）

1. 経済環境の変化は会社の経営に大きな影響を与える。だが経営者ならば、どんな環境が訪れても会社を安定させられる手段は常日頃、考えておかねばならない。商品の売り方一つを取ってもそうだ。多くの経営者は成長を好むため、巨額の広告宣伝費を投じたり、大量の商品をさばける販路を開拓したりして、一つでも多くのヒット商品を生み出そうとする。たまたまヒットすれば当然、売り上げは伸びる。しかし、その後に衰退期が必ずやってくる。ヒットを長期にわたって出し続けることは困難だからだ。
2. 変動する環境の中で経営者が成長だけを求めると、組織の中に無理が生じてくる。「この世に残る生物は、力の強いものではなく、頭の良いものでもない。変化に適応できるものだけ」とは、チャールズ・ダーウィンの言葉だ。会社も同じ。どんな環境変化にも適応できる力を身につけることが重要だ。そのために経営者は、長期的視点で物事を見る力を養っておきたい。
3. また、品薄の時代が来ても生き残れるのはどんな会社か。「常に仕入先を大事にしている会社」だ。日頃から相手に敬意を尽くしていれば、困った時に手を差し伸べてもらえる。仕入先に限った話ではない。協力会社や顧客も同じだ。いかに長期的に物事を見る視野を持てるか。不安定な経済環境の今こそ、この技量が経営者に求められている。

（参考：「日経ビジネス」2016年2月27日号）

人事・労務について

パワハラ対策の7つの取り組み

厚生労働省の平成 24 年度の調査では、「パワハラ
の予防・解決に経営上の課題として重要である」
と認識している企業が 80%を超えた。一方、すで
にパワハラ対策を実施している企業は約 45%にと
どまる。

1. トップからのメッセージ
2. 社内ルールを決める（パワーハラスメント
防止規程等の制定）
3. 実態を把握する（従業員アンケートの実施）
4. 研修する（管理職や従業員向けの研修の実施）
5. 周知する（会社の方針について社内掲示等）
6. 相談や解決の場を設置する（相談窓口の設
置）
7. 再発防止のための取り組み（継続的な予防
のための取り組み等）

（参考：「週刊東洋経済」：2016年2月27日号）

経営者の危機管理

戦いに敗れて消える塾の数（年間数千）

1. 少子化が急速に進む中でも、学習塾は毎年 5 万ヶ所
を超える事業所数をキープし、その中で「大手塾対
大手塾」、または「大手塾対中小塾」といった壮絶
な戦いを繰り返している。その結果、戦い敗れて消
えていく塾の数は、年間数千にも上るとされ、まさ
に「食うか食われるかの戦い」といったありさまだ。
2. 塾を選ぶ際に、保護者がまず注目するのが、その塾
の「強みと弱み」だ。かつては自塾の良い面だけを
チラシで連呼すれば生徒が集まったが、今はその
逆。保護者はその塾の弱みを知らうとする傾向にあ
る。すなわち、この厳しい状況の中で塾が生き延び
ていくためには、自塾の強みだけでなく、弱みをし
っかり把握しておく必要がある。その上で、弱みを
強みに変える努力をすることこそ、生き延びる道
だ。

（参考：「週刊ダイヤモンド」2016年3月5日号）

古典に学ぶ

王陽明と新約聖書

（解説）ここで、この主題を論じているさいだが、しばらく脱線するおゆるしを乞いたい。というのも、最も高潔な武士の何人かは、この賢者の教えにつよく影響されたからである。西洋の読者なら王陽明の著述中に、新約聖書と似た例を、いくつもとやすく認められよう。それぞれの教えに特有な用語を考慮すれば「何よりもまず神の国と神の義を求めなさい、そうすれば、これらのものはみな、加えて与えられる」という句は、王陽明のほとんどのページにも見出される思想を伝えている。

（参考：佐藤全弘訳新渡戸稲造著「武士道」：教文館）